

## アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 1-(1)-(ア)	具体的な な取組	防災マップを作り、災害に備えよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (1) 土砂災害等に対する備え				
事業目的・内容 居住する地区における土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）、土砂災害警戒区域（イエローゾーン）、洪水や高潮による浸水想定区域、避難経路及び避難場所を正しく理解し、災害時に的確な避難行動を行えるよう、地域独自の情報を掲載した防災マップの作成を支援する。				
○課題と対応 平成 30 年 7 月豪雨災害の教訓を踏まえ、「自分の命は自分で守る」という住民の防災意識を向上させ、防災まちづくりの更なる充実を図るため、防災マップの作成支援や防災訓練を行う。				
○指標 防災マップを作成した町内会数			○目標値の考え方 2019 年度末までに、全小学校区で学区全体の防災マップを作成し、さらに 196 町内会中 121 の町内会の防災マップを作成する予定としている。今後は、未作成である 75 町内会のうち、現在作成に向けて取り組んでいる 18 町内会については 2020 年度末までの作成を目標とし、それ以外の 57 町内会については、5 年ごとに行われる土砂災害警戒区域等の更新の時期（2022～2023 年度で実施予定）に合わせた作成を目標とする。	
○目標値と進捗状況				
年度	2023 実績	2024		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	196 町内会 /196 町内会	更新	更新	100%
○2024 年度の実績内容等 市 HP に防災マップを掲載できるよう、土砂災害警戒区域等のハザード情報等への更新について各地区への働き掛けを行った。 更新の取組に着手した町内会に対しては、新しいハザード情報を掲載した基図の提供を行い、防災マップの更新の支援を行った。				
○2025 年度の目標値と取組方針等 東区まちづくりプランの見直しにより、本項目は削除する。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 1-(1)-(イ)	具体的な取組	「自助・共助・公助」のバランスが取れた防災訓練を実施しよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (1) 土砂災害等に対する備え				
事業目的・内容 「自分の命は自分で守る」という自助の意識向上を図るとともに、「共助」の重要性を理解することを目的とし、学区自主防災会連合会、消防団及び区役所等が連携し、住民が災害から身を守るための行動や、自主防災組織等が指定避難所で取るべき行動の確認を行う防災訓練を実施する。				
○課題と対応 平成 30 年 7 月豪雨災害の教訓を踏まえ、「自分の命は自分で守る」という住民の防災意識を向上させ、防災まちづくりの更なる充実を図るため、防災マップの作成支援や防災訓練を行う。				
○指標 防災訓練を実施した地区数			○目標値の考え方 毎年、「二葉」「福木・温品」「戸坂」「牛田・早稲田」の4つのエリアのうち、 <u>1 エリアにつき1 地区</u> で訓練を実施している。 今後も同様な形で訓練を継続する。	
○目標値と進捗状況				
年度	2023 実績	2024		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	3 地区/年	4 地区/年	4 地区/年	100%
○2024 年度の取組内容等 (実績)				
エリア	地区	実施日	開催場所	備考
二葉	尾長	6/8	尾長小学校	避難所運営訓練
	尾長	9/1	尾長小学校	防災キャンプ
	尾長	12/15	尾長小学校	東区防災訓練・防災フェア
福木・温品	上温品	9/21・22	上温品小学校	防災キャンプ
	福木	10/5	福木中学校	ふれあいまつり（防災フェア）
	温品	3/23	温品小学校	防災訓練
戸坂	戸坂	12/1	災害伝承館	防災研修会
牛田・早稲田	早稲田	7/7	早稲田中学校	避難所運営訓練
	牛田	10/5・6	牛田小学校	防災キャンプ
	早稲田	11/24	早稲田中学校	防災訓練・防災フェア
○2025 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
4 地区/年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2024 年度に防災訓練未実施の学区を優先する。</li> <li>二葉エリア・・・・・・・・開催に向けて協議する。</li> <li>福木・温品エリア・・・・開催に向けて協議する。</li> <li>戸坂エリア・・・・・・・・開催に向けて協議する。</li> <li>牛田・早稲田エリア・・・牛田中学校で東区防災訓練・防災フェアを実施予定</li> </ul>			
○取組上の課題等 日頃の自主防災活動や防災訓練の実施により、地域住民の防災意識の向上を図れるよう、2024 年度に防災訓練未実施の地域に対して、積極的に働き掛けを行う。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 1-(2) 2-(4)-(エ)	具体的な取組 要支援者を地域で支えよう！	担当課 地域起こし推進課 地域支えあい課
----------------------------	-------------------------	----------------------------

まちづくりのテーマ及び項目  
1 安全・安心で、元気あられるまちづくり  
(2) 避難行動要支援者への支援

**事業目的・内容**

災害時に一人で避難することが困難な方（避難行動要支援者）が、安全かつ確実に避難することを目的とし、町内会、民生委員児童委員協議会、地区社会福祉協議会、学区自主防災会連合会へ対象者の名簿を提供し、対象者一人ひとりについて避難に必要な具体的事項を整理した計画（個別避難計画）を作成できるよう支援を行っている。

○課題と対応

要支援者名簿の提供先が多岐にわたるため、地域団体ごとの役割分担を明確にし、相互に連携して取り組めるよう支援を行う。

○指標 ※2022 年度指標修正

対象者のうち、危険区域に居住し、かつ、家族等による支援を受けられない方について、個別避難計画を作成した人数

○目標値の考え方

2021 年度までは、個別避難計画を作成した地区数を目標としていたが、2021 年度において目標を達成したことから、2022 年度からは、2021 年度に作成した人数が 16 人だったことを踏まえ、毎年度の個別避難計画の作成人数を 20 人以上とする。

○目標値と進捗状況

年度	2023 実績	2024		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	23 人/年	20 人以上/年	56 人/年	280%

○2024 年度の取組内容等

地域づくり調整会議を活用し、地域起こし推進課及び地域支えあい課の地区担当職員への防災研修を実施するとともに、各圏域で個別避難計画の作成支援が行えるよう、地区担当職員が避難行動要支援者及び福祉関係者、地域団体等との調整を行い、個別避難計画を作成した。

圏域名	地区名	要支援者	同意者	優先作成対象者等				今年度 作成
				人数	本人作成済	対象外	未作成	
福木・温品	福 田	177(1)	65	12	2	2	8	8
	馬 木	171	68	17	8	1	8	6
	温 品	175	64	5	2	0	3	2
	上温品	137	50(1)	12	3	4	5	5
戸坂	戸 坂	352	142(3)	31	8	5	18	10
	戸坂城山	137	46	13	2	5	6	5
	東 浄	169	71	13	6	2	5	5
牛田・早稲田	牛田新町	148	65(1)	8	2	4	2	1
	牛 田	283	122	10	5	2	3	2
	早 稲 田	110	39	14	7	4	3	3
二葉	中 山	193	76	10	0	5	5	3
	尾 長 (幟・白鳥含む)	513	201	27	5	10	12	5
	矢 賀	169	50	4	1	2	1	1
計		2,734(1)	1,059(5)	176	51	46	79	56

※要支援者の括弧内の数は、申出により年度途中で追加した者の数

※同意者の括弧内の数は、今年度の個別計画作成時に、来年度以降は不同意とする旨の申出があった者の数

※対象外とは、入所・死亡・転居等の名簿削除事項に該当する者及び公助・危機管理室作成対象となる者の数

○2025 年度の目標値と取組方針等

目標値	取組方針等
40 人以上 /年	地域住民及び福祉関係者と連携して、災害危険区域に居住する者、支援者がいない者及び計画作成支援を希望する者に対して優先的に個別避難計画作成を支援していく。

※目標値は、東区まちづくりプランの見直しで新たに設定した数値とする。

○取組上の課題等

福祉的な専門知識が必要となる医療的ケア児・者についても、障害自立支援課、危機管理課と連携して計画の作成及び訓練実施を進める。

○備考 優先作成対象者等の人数については、昨年度は優先対象者で、今年度は優先対象者ではなくなったが、そのことが分かる前に計画作成した人数を含む。

## アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 1-(3)-(ア)	具体的 な取組	次世代の担い手を育成するための講演会に参加しよう！	担当課	地域起こし推進課													
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (3) 地区社協や町内会などの地域コミュニティの活性化																	
事業目的・内容 各種地域団体が抱えている、役員の高齢化や担い手不足など、地域コミュニティの活力低下が顕在化しているため、その課題解決に向けて、令和2年度から年1回「地域コミュニティの活性化」をテーマとした講演会を開催する。																	
○課題と対応 町内会役員の高齢化や担い手不足、町内会加入率の低下などの課題解決を図り、地域コミュニティの活性化に取り組む。																	
○指標 講演会の参加者数			○目標値の考え方 東区民文化センター大ホールで講演会を実施する想定として、毎年度500人の参加を目標とする。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2023 実績</th> <th colspan="3">2024</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td style="text-align: center;">447人</td> <td style="text-align: center;">500人</td> <td style="text-align: center;">460人</td> <td style="text-align: center;">92%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2023 実績	2024			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	447人	500人	460人	92%
年度	2023 実績	2024															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	447人	500人	460人	92%													
○2024 年度の取組内容等 12月7日に開催した東区コミュニティ交流協議会東区民大会において、講演会の代替として、地域コミュニティの活性化につながる発表を行った。 <発表内容> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域が変わる！広島 LMO の取組（上温品まちづくり協議会）</li> <li>・ 高校が変わる！学校改革の取組（学校法人松本学園広島桜が丘高等学校）</li> <li>・ テレビ局が変わる！地域連携・社会貢献の取組（広島テレビ放送株式会社）</li> </ul>																	
○2025 年度の目標値と取組方針等 東区まちづくりプランの見直しにより、本項目は削除する。																	
○備考																	

## アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 1-(3)-(イ)	具体的な取組	「まるごと元気」地域コミュニティ活性化補助金」	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (3) 地区社協や町内会などの地域コミュニティの活性化				
事業目的・内容 平成 27 年度から住宅団地の活性化を目的に制度が創設され、平成 29 年度からは全市域に対象エリアを拡大し、町内会、地区社会福祉協議会、子ども会が新たに行う地域コミュニティの活性化のための主体的・継続的な取組に補助金を交付している。				
○課題と対応 町内会役員の高齢化や担い手不足、町内会加入率の低下などの課題解決を図り、地域コミュニティの活性化に取り組む。				
○指標 新規申請件数			○目標値の考え方 2019 年度までの過去5年間の新規申請件数の平均が 2 件であるため、毎年度 2 件以上を目標とする。	
○目標値と進捗状況				
年度	2023 実績	2024		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	6 件/年	2 件以上/年	3 件/年	150%
○2024 年度の実績内容等 1 次募集での新規申請は 1 件のみであったことから、2 次募集に向けて、年度当初の団体長への個人情報提供依頼時にチラシ等の案内を同封するなどして制度を周知した。その結果、2 次募集、3 次募集で新規申請がそれぞれ 1 件ずつあり、全 3 件となった。				
区分	団体名	事業名		
1 次募集	福田五月ヶ丘町内会	こどもオープンスペース		
2 次募集	福田五月ヶ丘町内会	福田五月ヶ丘ささえあい事業		
3 次募集	牛田新町 4 丁目町内会	春祭り～桜を通じた地域活性化事業～		
○2025 年度の目標値と取組方針等 東区まちづくりプランの見直しにより、本項目は削除する。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 1-(4)-(ア)	具体的 な取組	地域の安全は地域で守ろう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (4) 犯罪の起こりにくい安全なまちづくり				
事業目的・内容 犯罪の起こりにくい安全なまちづくりに向けた地域の自主的な取組を支援するため、平成 26 年度から町内会が道路等の公共空間に防犯カメラの設置する場合、補助金を交付している。				
○課題と対応 安全なまちづくりを進めるため、地域における危険な場所等を確認した上で、犯罪の抑止力になる防犯カメラや防犯灯の設置を支援する。				
○指標 防犯カメラ設置補助制度を活用した設置台数			○目標値の考え方 2014 年度からの 6 年間における設置台数の平均が約 5 台/年であることから、年間 5 台以上の設置を目標とする。	
○目標値と進捗状況				
	2023 実績	2024		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	3 台/年	5 台以上/年	2 台/年	40%
○2024 年度の実績内容等 制度について、市 HP（4 月 15 日掲載）、「市民と市政（4 月 15 日号）」及び窓口で広報したほか、追加募集では各地区社会福祉協議会に案内を送付した。 その結果、1 件 2 台（尾長）の申請が交付決定され、2 台とも設置を完了した。 また、来年度の申請に向け、防犯カメラ設置を検討している町内会に、申請方法や設置に係る手順等を説明した。				
○2025 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
5 台以上 /年	募集の際には、地区によって設置台数に偏りがあることについて周知を行い、年間 5 台以上の設置を支援する。			
○取組上の課題等 防犯カメラの必要性や補助制度の周知が不十分なため、未設置地区を中心に防犯カメラの必要性やランニングコストを含めた設置に係る費用などを丁寧に説明し、防犯カメラの設置を呼び掛けていく。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2024年度実績）

項目番号 1-(4)-(イ)	具体的な取組	防犯灯でまちを明るくしよう！	担当課	維持管理課
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (4) 犯罪の起こりにくい安全なまちづくり				
事業目的・内容 犯罪の起こりにくい安全なまちづくりを進めるため、犯罪の抑止力になる防犯灯を区役所が設置するほか、町内会が独自に設置する場合についても、昭和37年度から補助金を交付している。				
○課題と対応 安全なまちづくりを進めるため、地域における危険な場所等を確認した上で、犯罪の抑止力になる防犯カメラや防犯灯の設置を支援する。				
○指標 防犯灯の新規設置か所数			○目標値の考え方 過去3年間の平均で、区役所が新規設置する防犯灯が15か所、町内会が市からの補助を受けて新規設置する防犯灯が5か所のため、毎年度20か所の新規設置を目標に取り組む。	
○目標値と進捗状況				
年度	2023 実績	2024		
		目標値	3月末実績	進捗率
年度毎の 目標値	22か所 /年	20か所 /年	13か所 /年	65%
○2024年度の実績内容等 区役所が新規設置する防犯灯については、要望のあった9か所について、設置工事が完了した。 市からの補助金で町内会が新設する防犯灯については、設置申請のあった4か所について、設置が完了した。				
○2025年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
20か所 /年	設置要望があった防犯灯については、早期に設置工事が行えるよう、必要な依頼等を引き続き実施する。 市が交付する補助金により、町内会が新設する防犯灯については、引き続き、補助金制度の周知を図ることにより、年度目標値をクリアできるよう努める。			
○取組上の課題等 防犯灯の新規設置については、工事担当課が全区分を取りまとめた上で工事発注するため、要望を受けてから設置するまでかなりの時間を要している。				
○備考 市からの補助金（街路灯設置費補助金）については、町内会等から要望等の相談を受理次第、交付要綱に基づき、順次現場確認等を行うなどして交付可否等を判断する。				

## アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 1-(5)	具体的な取組	交通ルールを遵守し、交通マナーを向上させよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 1 安全・安心で、元気あふれるまちづくり (5) 交通事故のない安全なまちづくり				
事業目的・内容 交通ルールの遵守や交通マナーの向上を図るため、交通安全運動推進隊、警友会広島東支部、交通安全協会、学校、警察等と連携して、年間に交通安全街頭キャンペーンを4回、自転車交通マナー教室を2回開催し、事故のない安全なまちづくりを推進する。				
○課題と対応 交通事故の件数は年々減少傾向にあるが、「ながらスマホ」などの交通マナーの低下（特に若年層）などが指摘されており、交通安全に対する意識の向上を図る。				
○指標 交通安全街頭キャンペーン・自転車交通マナー教室の開催数			○目標値の考え方 年間で交通安全街頭キャンペーンを4回、自転車交通マナー教室を2回開催していることから、年間6回以上の開催数とする	
○目標値と進捗状況				
年度	2023 実績	2024		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	6回/年	6回以上/年	6回/年	100%
○2024 年度の実績内容等				
区 分		実施状況		参加者数
交通安全街頭キャンペーン		春	4月 8日(木) 広島駅新幹線口周辺	43人
		夏	7月 11日(木) ペDESTロリアンデッキ	雨天中止
			7月 15日(月) イオンモール広島府中	35人
		秋	9月 26日(木) 広島駅新幹線口周辺	45人
自転車交通マナー教室		冬	12月 7日(土) イオンモール広島府中	50人
		6月	6月 19日(水) 広島桜が丘高校	915人
		3月	3月 8日(土) 広島テレビホール	700人
その他、交通安全運動期間中は、区役所ロビー展、ポスター・のぼり旗の掲示、館内放送及び東区 Facebook により啓発を行った。				
○2025 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
6回以上 /年	交通安全街頭キャンペーンを年4回、自転車交通マナー教室を年2回の計6回以上開催する。			
○取組上の課題等 自転車交通マナー教室については、交通マナーを向上させる内容を検討する。				
○備考				

# アクションプラン 検証シート (2024 年度実績)

項目番号 2-(1)-(ア)	具体的な 取組	認知症サポーターになろう！	担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (1) 認知症の人やその疑いがある人の増加に伴う対応				
事業目的・内容 認知症に関する正しい知識を有し、認知症の人やその家族のよき理解者となる認知症サポーターを増やし、認知症の人やその家族が安心して暮らすことのできる地域づくりを進めるため、平成 18 年度から、区民や地域団体・事業所等を対象とし、地域住民の要請等に基づき、地域包括支援センター等が企画して、認知症サポーター養成講座を開催している。 これに加え、東区では、若い世代から認知症を知り理解を深めることが重要であるため、小中高等学校の児童生徒や大学生を対象とした講座を年 1 回、各学校において開催している。				
○課題と対応 認知症の人やその疑いがある人の増加が見込まれるため、認知症の人とその家族を地域で支える仕組みを作る。				
○指標 認知症サポーター養成講座の実施校数			○目標値の考え方 2019 年度の実績として小学校 1 校、私学の中高一貫校 1 校が未実施のため、2025 年度までに小中高大全ての学校での実施を目標とする。その後も全ての小中高大の学校での実施を継続する。	
○目標値と進捗状況				
	2023 実績	2024		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	23 校 小学校 10/12 中学校 7/7 高等学校 4/5 大学 2/2	24 校 小学校 12/12 中学校 7/7 高等学校 3/3 大学 2/2	21 校 小学校 11/12 中学校 7/7 高等学校 1/3 大学 2/2	88%
○2024 年度の実績等 上記の通り。 未実施校について)・高等学校 2 校については、開催を調整したが実施希望がなかった。 (2025 年度は実施が決まっている) ・小学校 1 校については、学校で認知症をテーマに学習することが決まっていたため実施に至らなかった。 令和 7 年度の開催学校 (小・中学校)				
区分	実施校			
小学校	福木小、上温品小、温品小、戸坂小、戸坂城山小、東浄小、牛田新町小、早稲田小、尾長小、矢賀小、中山小 (11 校)			
中学校	福木中、温品中、戸坂中、牛田中、早稲田中、二葉中、城北中 (7 校)			
○2025 年度の目標値と取組方針等 認知症サポーター養成講座は概ね全学校で実施できており、未実施校についても認知症の人に関する理解を深める学習は各校で実施されている。 まちづくりプランの見直しにより、本項目は削除するが、事業としては引き続き実施する。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 2-(1)-(イ)	具体的 な取組	認知症支えあいカフェを広めよう！	担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (1)認知症の人やその疑いがある人の増加に伴う対応				
事業目的・内容 認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活できるよう、平成 26 年度より認知症の人とその家族、地域団体、医師・社会福祉士・保健師等が、概ね月 1 回程度、地域の集会所や病院などで気軽に集い交流を図る認知症支えあいカフェを開催している。専門職による相談・助言により、地域で認知症の人とその家族を支える体制づくりを進める。				
○課題と対応 認知症の人やその疑いがある人の増加が見込まれるため、認知症の人とその家族を地域で支える仕組みを作る。				
○指標 認知症支えあいカフェの設置地区数			○目標値の考え方 2023 年度に全 13 地区の設置が完了したが、引き続き全地区設置を目標値とする。	
○目標値と進捗状況				
	2023 実績	2024		
年度		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	13/13 地区	13/13 地区	13/13 地区	100%
○2024 年度の取り組み内容等 各認知症支えあいカフェの立ち上げ及び運営については、各地域包括支援センター、認知症地域支援推進員、地区担当保健師などが打合せを行ったりカフェを訪問したりして支援を行い、3 件の新規カフェが立ち上がった。 また、カフェの運営に携わる方の育成の支援として、認知症サポーターステップアップ講座を各圏域で開催した。カフェのスタッフやボランティアが継続的に活動に参加できるよう、カフェの「店長さん交流会」や「認知症サポーターステップアップ講座フォローアップ講座」を東区4圏域合同で実施した。				
○2025 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
23 か所	第9期広島市高齢者施策推進プランの目標値の考え方を踏まえつつ、2023 年度実績の設置か所数 21 か所から、毎年度 1 か所程度の増加を目指す。			
○取組上の課題等 認知症支えあいカフェスタッフやボランティアが不安なく活動を続けられるよう、カフェに訪問して支援したり、フォローアップ講座を引き続き行ったりする必要がある。 また、2025 年度から認知症カフェ支援金の給付要件が一部変更になるため、支援金の申請を希望するカフェに対しては、丁寧に説明を行う。特にレクリエーションや交流などが活動内容の中心になっているカフェについては、カフェの本来の役割である認知症の人及び家族等からの相談に対する助言の実施や、認知症に関する知識を深めるための講習会等の実施ができるよう支援する。				
○備考 第9期広島市高齢者施策推進プランの数値目標の考え方に合わせ、認知症支えあいカフェの設置地区数から設置か所数に目標指標を見直す。				

○ 地区別の設置状況

令和7年3月末現在 13地区24か所（うち、2か所は休止中）※開始時期の下線太字は令和6年度新規立ち上げ

地区	カフェ名称	実施主体	会場	開始時期
福田	ふくだオレンジカフェ	社会福祉法人 広島常光福祉会 居宅介護支援事業所ふくだの里 →福田地区社会福祉協議会	福田公民館 →ケアハウス・ラ ポーレひろしま	2016年10月
馬木	もみじカフェ馬木	地域住民(認知症サポーター) 馬木公民館	メープル馬木 →馬木公民館	2019年9月
上温品	認知症カフェぬくぬく	医療法人たかまさ会 山崎病院	山崎病院屋上庭園	2015年5月
	ほっとカフェ上温	地域住民(認知症サポーター)	温品福祉センター	2023年10月
	はびねす	就労支援B型事業所 仕事本舗 Happiness	就労支援B型事業所 仕事本舗 Happiness	<b>2024年8月</b>
温品	温品きんさいカフェ	温品学区社会福祉協議会 有限会社リラックス 地域住民(認知症サポーター)	世代間交流施設り らくす保育園 →温品公民館	2020年10月
	間所支えあいカフェ ※ ケアビレッジ温品カフェに移転	温品学区社会福祉協議会、広島 銀行(共催)	フォレオ広島東店広 島銀行温品支店セミ ナールーム	2021年7月 2022年2月閉店 (移転のため)
	旭が丘カフェ	温品学区社会福祉協議会 地域住民(認知症サポーター)	個人宅	2022年3月
	ケアビレッジ温品カフェ ※ 間所支えあいカフェから移転	温品学区社会福祉協議会 ケアビレッジライル温品 地域住民(認知症サポーター)	ケアビレッジライル 温品	2022年6月
	ぬくしな愛の家カフェ	愛の家グループホーム広島温品	愛の家グループホーム 広島温品	<b>2024年7月</b>
東浄	認知症カフェ よりみち	東浄学区社会福祉協議会	民家	2017年7月
戸坂城山	南2丁目にここにこカフェ	南2丁目町内会	広島第一病院地域交 流スペース	2019年7月
戸坂	さくらカフェ	戸坂学区社会福祉協議会	桜ヶ丘市営住宅5号 棟1階さくらサロン	2016年11月
	太田川カフェゆう (休止中)	太田川病院 認知症支援チーム	太田川病院	2017年10月
	やまねお茶べりサロンカフェ	山根町内会	松笠観音寺	<b>2024年6月</b>
牛田新町	牛田新町ローズカフェ	介護老人保健施設牛田バラ苑	牛田新町集会所1階	2018年6月
	カフェさかみち	地域住民(認知症サポーター)	さつき集会所	2023年4月
牛田	いっぽカフェ♪	地域住民(認知症サポーター)	cafe+space はじめ のいっぽ	2022年7月
早稲田	みち草カフェ	早稲田学区社会福祉協議会	早稲田集会所1階	2020年4月
矢賀	カナリアの会	矢賀新町南町町内会	南組会館	2023年4月
	やが ぽかぽか	矢賀学区まちづくり委員会	矢賀中央集会所	2023年6月
中山	中山やすらぎカフェ(café)	中山地区社会福祉協議会	中山集会所	2022年9月
	鏡が丘いきいきサロン	地域住民(認知症サポーター)	鏡が丘会館	2023年6月
尾長	オレンジカフェ ハッピーミ ルキー (休止中)	医療法人社団 ひろまさ会 谷本クリニック併設ミルキーケア	ミルキーケア1階	2016年4月
	認知症ケア&予防ハート ホーム CAFÉ	広島主城教会	広島主城教会	2020年2月

## アクションプラン 検証シート (2024 年度実績)

項目番号 2-(2)	具体的な取組	いきいき百歳体操に取り組みよう！	担当課	地域支えあい課															
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (2) 高齢者の健康づくり、介護予防の推進																			
事業目的・内容 誰もが介護予防に取り組むことのできる地域づくりを進めるため、高齢者が気軽に通える身近な地域の集会所等で、いきいき百歳体操等を行う「介護予防拠点」を平成 29 年度から整備している。																			
○課題と対応 介護を要する高齢者の増加が見込まれるため、地域団体等と協力して介護予防拠点を増やし、自ら健康づくりに取り組む高齢者を増やす。																			
○指標 拠点数と参加者数			○目標値の考え方 広島市高齢者施策推進プランの目標値の考え方 (2025 年度までに高齢者の 1 割が参加) を踏まえ、2025 年度の東区の高齢者人口約 31,000 人のうち、1 割の 3,100 人の参加を目標とした。2025 年度に参加者数 31,000 人という目標を達成するためには、1 年で 224 人ずつ増加させる必要があることを踏まえて各年度の目標値を設定している。拠点数については、1 拠点あたりの参加者数を 20 人として設定した。 なお、2026 年度以降については、次期プランに併せて作成する。																
○目標値と進捗状況																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th>2023</th> <th colspan="3">2024</th> </tr> <tr> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>2,348 人 (107 拠点)</td> <td>2,652 人 (132 拠点)</td> <td>2,423 人 (111 拠点)</td> <td>62%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2023	2024			実績	目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	2,348 人 (107 拠点)	2,652 人 (132 拠点)	2,423 人 (111 拠点)	62%	
年度	2023	2024																	
	実績	目標値	実績	進捗率															
年度毎の 目標値	2,348 人 (107 拠点)	2,652 人 (132 拠点)	2,423 人 (111 拠点)	62%															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="5">進捗率算出 (積み上げ式)</td> </tr> <tr> <td colspan="5"> <math display="block">\frac{2,423 - 1,685}{2,876 - 1,685} = \frac{738}{1,191}</math> </td> </tr> <tr> <td colspan="5">※2019 実績値</td> </tr> </table>					進捗率算出 (積み上げ式)					$\frac{2,423 - 1,685}{2,876 - 1,685} = \frac{738}{1,191}$					※2019 実績値				
進捗率算出 (積み上げ式)																			
$\frac{2,423 - 1,685}{2,876 - 1,685} = \frac{738}{1,191}$																			
※2019 実績値																			
○2024 年度の取組内容等																			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・東区内で新たに 6 拠点 (福木・温品圏域：1 箇所、戸坂圏域：1 箇所、牛田・早稲田圏域：2 箇所、二葉圏域：2 箇所) が開設され、2 拠点が、活動中止・休止となった。</li> <li>・東区内の全ての圏域でデジタル技術の活用による、フレイル予防推進事業を実施。地域介護予防拠点で実施することにより、参加者の介護予防活動に対する意欲向上につながった。イベントで実施する際に、活動の PR を行い参加者数の増加に向けた働きかけを行った。</li> <li>・2024 年度から、地域介護予防拠点の支援を行う地域包括支援センター、リハビリ専門職、地域支えあい課で交流会を開始 (年 2 回開催)。関係機関で拠点支援の課題等を共有することによって、支援の充実化や連携強化を図った。</li> </ul>																			
○2025 年度の目標値と取組方針等																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">2,560 人</td> <td>                     具体的な取り組みを「いきいき百歳体操に取り組みよう！」から「地域の介護予防活動に参加しよう！」に変更し、すべての高齢者が気軽に参加することができる「通いの場」の参加者数に見直しを行った。                      これにより、これまで指標としていた拠点数と参加者数から、国が目指している通いの場への高齢者の参加割合 (8%) を第 9 期広島市高齢者施策推進プランも同様に目標値と定めていることを踏まえつつ、2025 年度は、東区の高齢者人口約 32,000 人のうち、8% の 2,560 人の参加を目標とし、東区では毎年度約 100 人の高齢者人口の増加見込みのため、8 人ずつ参加者数を増やすこととする。                 </td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	2,560 人	具体的な取り組みを「いきいき百歳体操に取り組みよう！」から「地域の介護予防活動に参加しよう！」に変更し、すべての高齢者が気軽に参加することができる「通いの場」の参加者数に見直しを行った。 これにより、これまで指標としていた拠点数と参加者数から、国が目指している通いの場への高齢者の参加割合 (8%) を第 9 期広島市高齢者施策推進プランも同様に目標値と定めていることを踏まえつつ、2025 年度は、東区の高齢者人口約 32,000 人のうち、8% の 2,560 人の参加を目標とし、東区では毎年度約 100 人の高齢者人口の増加見込みのため、8 人ずつ参加者数を増やすこととする。											
目標値	取組方針等																		
2,560 人	具体的な取り組みを「いきいき百歳体操に取り組みよう！」から「地域の介護予防活動に参加しよう！」に変更し、すべての高齢者が気軽に参加することができる「通いの場」の参加者数に見直しを行った。 これにより、これまで指標としていた拠点数と参加者数から、国が目指している通いの場への高齢者の参加割合 (8%) を第 9 期広島市高齢者施策推進プランも同様に目標値と定めていることを踏まえつつ、2025 年度は、東区の高齢者人口約 32,000 人のうち、8% の 2,560 人の参加を目標とし、東区では毎年度約 100 人の高齢者人口の増加見込みのため、8 人ずつ参加者数を増やすこととする。																		
○取組上の課題等																			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動がマンネリ化している地域介護予防拠点が多いため、デジタル技術の活用によるフレイル予防推進事業や新しい体操 (しゃんしゃんバランス体操) の導入、地域リハビリテーション活動支援事業を有効活用することで活動継続に向けて働きかける必要がある。</li> <li>・身近な活動場所や担い手の確保が難しく、新規立ち上げ・継続運営が困難な地域があることから、公共施設だけでなく自宅等でも気軽に始められることや、立ち上げ方法、若い世代の参加について市民に PR していく。</li> </ul>																			
○備考																			

## アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 2-③	具体的な取組	地域子育てオープンスペースの参加者を増やそう！	担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (3) 地域ぐるみの子育て支援				
事業目的・内容 子育て中の親子が地域で孤立しないよう、子育て支援ボランティアや民生委員児童委員が中心となり、月に1回程度、公民館や集会所等で子育て親子が気軽に集い交流できる地域子育てオープンスペースについてその設置や運営を支援する。				
○課題と対応 子育て中の親子が利用しやすいよう、地域団体と連携し、子育てオープンスペースの実施回数や実施箇所数を増やすとともに、多世代交流など多様な実施内容を取り入れ、参加者数を増やす。				
○指標 地域の子育てオープンスペースの参加者数			○目標値の考え方 2023 年度実績の参加者数から、毎年度 20 人ずつ増やすこととする。	
○目標値と進捗状況				
年度	2023 実績	2024		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	2,800 人 (オンラインおしゃべり広場含む。)	2,820 人	2,781 人 (オンラインおしゃべり広場、多世代交流の場含む。)	98.6%
○2024 年度の取組内容等 オープンスペースは、19 か所、194 回開設、延 2,634 人が参加した。 自宅から参加できる「オンラインおしゃべり広場」を 16 回開催し、離乳食や子どもの発達などをテーマに取り上げ、149 人が参加した。 新たに開店した地域食堂へ妊婦の参加を促したところ、参加後は地域食堂以外でも地域の人から声かけがあるなど地域での見守りにつながった。また、高齢者が参加するウォーキング活動（牛田）などの地域の通いの場に、子育て中の親子が参加しやすいようなミニ講座を企画することで、多世代交流の場とすることができた。				
○2025 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
2,840 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の子育てオープンスペースや「オンラインおしゃべり広場」について、家庭訪問時や乳幼児健診会場のモニターを活用し、効果的な PR を行い、参加を呼び掛けていく。</li> <li>・ 地域の通いの場での多世代交流についても、家庭訪問時などに、PR を行い、参加を呼び掛けていく。</li> </ul>			
○取組上の課題等 ・ 地域の子育てオープンスペースについて、家庭訪問時にチラシを配布したり、乳幼児健診の会場でモニター視聴してもらう等、効果的な PR 方法を検討していく。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2024年度実績）

項目番号 2-(4)-(ア)	具体的な取組	「東区地域支えあいリスト」の掲載件数を増やそう！	担当課	地域支えあい課																															
<p>まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (4) 地域共生社会の実現に向けた取組</p>																																			
<p>事業目的・内容 高齢者、子ども、障害者などすべての人々が「住みなれた地域で安心して暮らすことができる」地域共生社会の実現を目指し、平成31年4月に「地域共生社会の実現に向けたネットワーク会議」を設置し、その取組の一環として、地域団体の活動をまとめた「東区地域支えあいリスト」を作成した。 子育て中の親子や高齢者、障害児・者が地域で通える場所やボランティアバンク等の生活支援の情報を、日常生活圏域（中学校区）ごとにマップとリストで掲載している。</p>																																			
<p>○課題と対応 少子化・高齢化が進み、現在の制度では対応できないケースが増えてくることが予測されるため、地域住民や地域の多様な団体が連携し、世代や制度・分野ごとの「縦割り」を超えてつながることで、子ども、高齢者、障害者など、全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会を実現する。</p>																																			
<p>○指標 ※2021年度に指標上方修正 地域支えあいリストの掲載件数</p>			<p>○目標値の考え方 2019年度の掲載件数の296件をベースにして、今後いきいき百歳体操と認知症支えあいカフェの実施団体の増加を年12件～17件見込んでいる。</p>																																
<p>○目標値と進捗状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2023 実績</th> <th colspan="3">2024</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>395</td> <td>395件</td> <td>402件</td> <td>107%</td> </tr> </tbody> </table>			年度	2023 実績	2024			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	395	395件	402件	107%	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="3">進捗率算出（積み上げ式）</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">402</td> <td style="border: none;">-</td> <td style="border: none;">296 ※</td> <td style="border: none;">=</td> <td style="border: none;">106</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">395</td> <td style="border: none;">-</td> <td style="border: none;">296 ※</td> <td style="border: none;">=</td> <td style="border: none;">99</td> </tr> <tr> <td colspan="5">※2019実績値</td> </tr> </table>		進捗率算出（積み上げ式）			402	-	296 ※	=	106	395	-	296 ※	=	99	※2019実績値				
年度	2023 実績	2024																																	
		目標値	実績	進捗率																															
年度毎の 目標値	395	395件	402件	107%																															
進捗率算出（積み上げ式）																																			
402	-	296 ※	=	106																															
395	-	296 ※	=	99																															
※2019実績値																																			
<p>○2024年度の取組内容等 9月にリストが完成し、会議の構成委員や地域団体への配付及びホームページの更新を行った。 2024年度は掲載件数が402件となり、7件増加した。 本市では、行政や地域包括支援センター等の各支援関係機関が管理している地域資源情報を一元管理・マップ化する「地域資源管理システム」を2024年度末に導入するため、現行の形での「東区地域支えあいリスト」の作成を終了する。このため、本システム移行後の情報の活用方法等について検討を進めていく。また、本システムに登録する新たな掲載情報について、引き続き情報収集を行っていく。</p>																																			
<p>○2025年度の目標値と取組方針等 まちづくりプランの見直しにより、本項目は削除する。</p>																																			
<p>○備考</p>																																			

## アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 2-(4)-(イ)	具体的な取組 医師会や歯科医師会等の医療介護関係者と地域団体が連携した活動を増やそう！	担当課 地域支えあい課	
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (4) 地域共生社会の実現に向けた取組			
事業目的・内容 誰もが、住み慣れた地域で最後まで安心して暮らせるためには、医療・介護ネットワーク（医療介護関係者）と介護予防・生活支援ネットワーク（地域団体）の有機的な連携を進める必要がある。このため、「認知症支えあいカフェ」への医療介護関係者による支援や、地域団体の研修会等への医療介護関係者による講師派遣等を行う。			
○課題と対応 少子化・高齢化が進み、現在の制度では対応できないケースが増えてくることが予測されるため、地域住民や地域の多様な団体が連携し、世代や制度・分野ごとの「縦割り」を超えてつながることで、子ども、高齢者、障害者など、全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会を実現する。			
○指標 ※2021 年度に指標上方修正 医療介護関係者と地域団体が連携した地区数		○目標値の考え方 2020 年度から2地区社協エリアで開始し、毎年度2 地区増やし、2025 年度 13 地区全ての地区で実施することとする。	
○目標値と進捗状況		実績進捗率算出（積み上げ式）※2019 実績値 $\frac{7-0}{13-0} = \frac{2}{13}$	
年度	2023 実績		2024
年度毎の 目標値	13/13 地区	目標値 13/13 地区	実績 13/13 地区
			進捗率 100%
○2024 年度の取組内容等（13地区44か所実施） <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の通いの場である地域介護予防拠点等8か所に薬剤師、4か所に歯科衛生士を派遣し、教室を実施した。</li> <li>・3か所の地域の健康教育で歯科医師による講座を実施した。</li> <li>・7中学校での認知症に関する講演に医師を調整し、地域の認知症カフェ（22か所）に看護師、医師等の参画を調整した。</li> </ul> →13 地区全ての地域に、地域包括支援センターと連携して、医療介護関係者を派遣できた。			
○2025 年度の目標値と取組方針等			
目標値	取組方針等		
43 か所	医療介護関係者と地域団体の連携は 13 地区全てで実施しているため、今後は実施か所数を増やしていくこととした。		
2023 年度実績の 39 か所から、今後、毎年度 2 か所ずつ増やす目標とする。			
○取組上の課題等 地域の通いの場に、13 地区バランスよく医療介護関係者を派遣できるよう調整支援を行ったが、通いの場によっては、医療介護関係者による支援や講座を希望しない所もあるため、引き続きニーズのない場へも働きかけていく。			
○備考			

## アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 2-(4)-(ウ)	具体的 な取組	地域共生社会の実現のため、多世代交流の場 を立ち上げよう！	担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (4) 地域共生社会の実現に向けた取組				
事業目的・内容 公民館や集会所等で、子ども、高齢者、障害者などを対象とした多世代交流の場を設置し、茶話会や季節の行事等を定期的で開催することで、協働による相乗効果や新たな担い手の発掘など、効率的な取組に発展させる。				
○課題と対応 少子化・高齢化が進み、現在の制度では対応できないケースが増えてくることが予測されるため、地域住民や地域の多様な団体が連携し、世代や制度・分野ごとの「縦割り」を超えてつながることで、子ども、高齢者、障害者など、全ての人が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる社会を実現する。				
○指標 多世代交流の場の開催地区数			○目標値の考え方 2018年は1地区（戸坂地区）の地区社協のエリアで開催しており、2020年からは年2地区ずつ増やし、2025年度には13か所全ての地区で開催することとしていた。2023年度には全地区で開催でき、それを継続する。	
○目標値と進捗状況				
		2024		
年度	2022 実績	目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	13/13 地区	13/13 地区	13/13 地区	100%
○2024 年度の実績内容等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月から牛田新町地域食堂の開設準備の協力、7月からは運営継続支援を実施</li> <li>・尾長学区の高校生が常設オープンスペースに学生ボランティアとして参加</li> <li>・尾長地区こども食堂の開設準備に協力</li> <li>・中山地区のオープンスペースで障害者支援事業所の自主製品販売の再開について調整</li> </ul> ※（参考）地区別の取組内容は次ページに記載				
○2025 年度の目標値と取組方針等 まちづくりプランの見直しにより、本項目は削除するが、事業としては引き続き実施する。				
○備考				

## (参考) 地区別の取組内容

地区	取組内容	備考
福田	<ul style="list-style-type: none"> <li>福木幼稚園にて地域の高齢者と交流</li> <li>いきいき百歳体操「新しいいきいきスマイル会」に園での交流やボランティア、見学参加など呼び掛けている。</li> </ul>	2023年11月～実施
馬木		
温品	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症支援あいカフェ「温品きんさいカフェ」に近隣の保育園の園児が参加し、交流</li> <li>温品地区の認知症カフェで障害者作業所の手作り菓子をお茶菓子として活用</li> <li>温品地区のウォーキング「サロンほっと」で障害者作業所が自主製品の販売を開始</li> </ul>	2023年度～実施
上温品	<ul style="list-style-type: none"> <li>温品地区民生委員児童委員協議会地区定例会において、障害者作業所のお菓子を配布</li> </ul>	2023年6月～実施
	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てオープンスペース「はとぼっぼ」、「こんべいとう」に障害者事業所が参加し、交流</li> </ul>	2024年1月～実施
戸坂	<ul style="list-style-type: none"> <li>「やまね お茶べりサロン」：幼児とその保護者が地域の高齢者等と交流</li> <li>介護予防拠点交流会にて、障害者作業所のお菓子を提供し地域住民と交流</li> <li>介護予防拠点に障害者作業所のメンバーとスタッフが月1回参加</li> <li>戸坂地区民生委員児童委員協議会地区定例会において、障害者作業所のお菓子を配布</li> </ul>	2023年9月11月～実施 2024年1月～ 2024年度も継続中
戸坂城山	<ul style="list-style-type: none"> <li>こども食堂「らくらく広場」：地域の小学生と高齢者、大学生が交流</li> </ul>	2023年9月に再開
東浄	<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいき百歳体操「いきいき百歳体操 in 中山台」に障害者支援事業所が栽培した野菜や焼き菓子を販売し、高齢者と交流</li> <li>中山台集会所「花の寄せ植え会」：障害者支援事業所が栽培した野菜や焼き菓子を販売し、地域住民と交流</li> <li>東浄子ども行事（縁日）：障害者支援事業所が自主製品を販売</li> </ul>	2021年7月から実施（コロナで休止期間あり）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸坂新町郵便局：障害者支援事業所が自主製品を販売</li> </ul>	2024年度も継続実施中
牛田新町	<ul style="list-style-type: none"> <li>「いきいき健康フェスティバル」：大学生が参加し、パークスポーツの遊び方の指導を行い、参加した乳幼児・小学生やその保護者、高齢者と交流</li> <li>子育てオープンスペース「わくわく・しんまち」：大学生が参加し、乳幼児やその保護者、ボランティアと交流</li> <li>障害者施設で実施するいきいき百歳体操に障害者が参加し、地域の高齢者と交流</li> <li>牛田新町地域食堂の開設準備、運営支援</li> </ul>	2022年度～実施
		2023年度～実施 2024年4月～実施
牛田	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のウォーキングの拠点「早稲田神社まで歩こう！」：障害者支援事業所が自主製品を販売し、障害者が地域住民（高齢者や乳幼児の親子）と交流</li> <li>地域のウォーキングの拠点「安楽寺まで歩こう！」：障害者支援事業所が自主製品の販売を開始。子育て中の親子も参加し、交流</li> </ul>	2022年10月～実施
牛田早稲田		2021年10月～実施
中山	<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいきサロン「さくらんぼの会」：障害者支援事業所が自主製品を販売</li> </ul>	2024年度も継続実施中
	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てオープンスペース「中山子育てのつどい」：障害者支援事業所の自主製品販売の再開について調整</li> </ul>	(2025年4月から再開)
尾長	<ul style="list-style-type: none"> <li>グラノード広島郵便局：障害者支援事業所が自主製品を販売</li> </ul>	2024年度も継続実施中
	<ul style="list-style-type: none"> <li>常設オープンスペースぼっぼひがしに学区内の高校生が学生ボランティアとして参加</li> <li>子ども食堂の開設準備</li> </ul>	2024年度実施 2025年1月
矢賀	<ul style="list-style-type: none"> <li>矢賀多世代カフェ「やが ほかほか」が開店。乳幼児や小学生も参加し、地域の高齢者等と交流。2か所の障害者支援事業所が自主製品の販売を実施</li> <li>矢賀地区民生委員児童委員協議会地区定例会において、障害者作業所のお菓子を配布</li> </ul>	2023年6月～実施 2023年度～実施

## アクションプラン 検証シート (2024 年度実績)

項目番号 2-(5)-(ア)	具体的 な取組	元気じゃ健診を受けよう！	担当課	地域支えあい課
まちづくりの方向性及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (5) 地域で取り組む生活習慣病予防				
事業目的・内容 区民の健康の保持増進、健康寿命の延伸を図るため、生活習慣病の早期発見等を目的に、元気じゃ健診（40 歳～74 歳の方；特定健康診査、75 歳以上の方；健康診査）を実施しているが、受診者が少ない。このため、平成 31 年度から社会福祉協議会と連携し、「自分の健康は自分で守る」という意識のもと、地域ぐるみで住民同士が呼び掛け合って健診受診ができるよう、モデル地区を定めて巡回健診の PR チラシ作成・配付をする等、受診率向上に向けた取組を行っている。				
○課題と対応 平均寿命と健康寿命の差が大きいため、食生活や運動などの生活習慣を改善するとともに、疾病や、加齢に伴う心身機能の低下（フレイル）の早期発見のため、特定健康診査受診率を高めることにより健康寿命を延ばす。				
○指標 特定健康診査受診率 (対象：広島市国民健康保険に加入する 40 歳～74 歳の者)			○目標値の考え方 目標値は、「広島市国民健康保険特定健康診査等実施計画【第 3 期：2018 年度～2023 年度】」の 2023 年度の目標値 50%を基に設定している。 ＜参考＞2022 年度特定健康診査受診率：広島市 27.6%、東区 27.3%	
○目標値と進捗状況				
年度	2023 実績	2024		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	29.2% (確定値)	55%	※16.5% (3 月末暫定値)	30%
※当年度の実績（受診率）について 2025 年 11 月頃に 2024 年度実績（確定値）が判明する。				
○2024 年度の実績等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・区役所広告モニターや Facebook を活用して全世代を対象にした受診勧奨メッセージの情報発信を行うとともに、こにちは赤ちゃん事業や乳幼児健診等で若い世代へ啓発チラシの配付を行った。</li> <li>・公衛協や女性会等地域団体及び医療・福祉関係団体の会議において、受診率向上の取組について説明し、協力を依頼した。</li> <li>・若い世代向けの啓発ポスターを幼稚園や認定こども園、公立保育園 31 園に配付し、周知を依頼した。</li> <li>・ケアマネジャー自主勉強会で元気じゃ健診の広報及び担当する高齢者家族への受診勧奨を依頼した。</li> <li>・健診実施医療機関（56 か所）での積極的な受診勧奨を行うため、院内へのポスター、ステッカーの掲示を昨年度に続き依頼した他、歯科医院（49 か所）・薬局（58 か所）でのポスター掲示も依頼した。2024 年度は新たに、健診実施医療機関以外の区内医療機関（36 か所）へも広報のためのポスター掲示及びチラシ配付を依頼した。</li> </ul>				
○2025 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
32%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2024 年に策定された広島市国民健康保険第 3 期データヘルス計画・第 4 期特定健康診査等実施計画の目標値に準じて、2025 年度の目標値を設定する。</li> <li>・区役所広告モニターや Facebook を活用して全世代を対象にした受診勧奨メッセージの情報発信を行う他、地域団体・関係機関と連携し、各世代への効果的な受診率向上の取組を実施。</li> <li>・医師会と連携し、医療機関における実施件数アップに向けた取組を実施する他、元気じゃ健診未実施医療機関での受診勧奨メッセージの情報発信を依頼。</li> </ul>			
○取組上の課題等 受診率の確定に 1 年以上の時間を要するため、取組の効果が分かりづらい。また、様々な取組を行っているが、受診率の大幅な向上には繋がらず、取組方法や評価方法の再検討が必要である。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 2-(5)-(イ)	具体的 な取組	野菜摂取量を増やすため、地元の野菜を食べよう！	担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (5) 地域で取り組む生活習慣病予防				
事業目的・内容 住民一人一人が自分自身の健康に関心を持ち、野菜摂取の大切さ、栄養バランスを意識した食事について理解を深めることを目的として、健康教室の開催、個別相談等を行っている。平成 26 年度からは区役所食堂において、健康に関する情報の発信、健康相談（年3回）、「元気じゃけん定食」の提供支援（月 2 回）等を通じた啓発を行っている。				
○課題と対応 平均寿命と健康寿命の差が大きいため、食生活や運動などの生活習慣を改善するとともに、疾病や、加齢に伴う心身機能の低下（フレイル）の早期発見のため、特定健康診査受診率を高めることにより健康寿命を延ばす。				
○指標 地元野菜を活用したレシピの数			○目標値の考え方 すこやか食生活推進リーダー※1 及びすこやか食生活推進サポーター※2 と連携し、毎年、夏野菜と冬野菜を使ったレシピを 1 品ずつ計 2 品を開発する。 ※1 地域で健康増進・栄養改善活動を行う本市登録の管理栄養士又は栄養士 ※2 本市実施のすこやか食生活推進サポーター養成講座を修了し登録したボランティア	
○目標値と進捗状況				
年度	2023 実績	2024		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	2品/年	2品/年	2品/年	100%
○2024 年度の実績内容等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代に野菜摂取を啓発するため、すこやか食生活推進リーダー及びすこやか食生活推進サポーターの協力のもと、比治山大学及び広島女学院大学と小松菜を使った協働レシピを開発し、大学祭、食育講座及び木曜であい市で配付した。</li> <li>・すこやか食生活推進サポーターと協同し、大根レシピやねぎをテーマにした食育新聞を作成して、職員食堂に掲示した。</li> <li>・これまでに作成したレシピは、Facebook や子育て応援アプリで情報提供するとともに、区役所職員食堂、二葉公民館、乳幼児健診、子育て世代向けの訪問事業等で配付した。</li> </ul>				
○2025 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
12 品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学連携事業を活用し、若い世代への啓発に努める。</li> <li>・木曜であい市、乳幼児健診会場のモニターや市公式 SNS 等を活用した情報発信を行う。</li> </ul>			
これまで開発したレシピ（10 品）も活用しながら、健康教室の開催・個別相談を行っているため、2025 年度からは積み上げ式の目標値とした。				
○取組上の課題等 引き続き、作成したレシピを活用した普及啓発を行う。				
○備考				

# 旨さ主役級！お手軽常備菜！

## 【小松菜とツナの甘辛炒め】

### 材料（約3食分）

小松菜	120g（約3株）
ツナ缶（油漬け）	1缶（70g）
しょうゆ	小さじ1（6g）
砂糖	小さじ1（3g）



### 栄養価（約3食分）

エネルギー	126kcal
たんぱく質	15.6g
脂質	1.9g
食塩相当量	2.2g

### 〈作り方〉

- ① フライパンにツナ缶を入れて火をつけ、3cmのざく切りにした小松菜を加えしんなりするまで炒める。
- ② しょうゆと砂糖を加え、混ぜる。
- ③ ご飯に乗せて完成！



比治山大学 健康栄養学部 管理栄養学科 学生

## 小松菜のポテトサラダ

### ■材料（2人分）

小松菜	1株(45g)
じゃがいも	小2個(150g)
たまねぎ	10g
にんじん	10g
ゆで卵	1個(50g)

〈A〉	マヨネーズ	大さじ1(12g)
	しょうゆ	小さじ1/2(3g)
	塩	少々(0.2g)
	こしょう	少々

### 〈栄養価〉1人分

エネルギー(kcal)	139
たんぱく質(g)	4.4
脂質(g)	6.6
炭水化物(g)	12.7
食塩相当量(g)	0.5
カルシウム(mg)	48
鉄(mg)	1.2



### ■作り方

- ① 小松菜はひと口大、たまねぎは薄切り、にんじんはいちょう切りにする。
- ② ①を耐熱容器に入れてラップをし、電子レンジで600W、2分加熱する。
- ③ じゃがいもは皮をおき、ひと口大の乱切りにする。
- ④ 耐熱容器に③を入れてラップをし、電子レンジで600W、3分加熱する。(硬ければ再度加熱)
- ⑤ ④にゆで卵を入れ、フォークなどでつぶしたら、②と〈A〉を入れ、混ぜ合わせる。

### ★ポイント

- ・電子レンジで作れるので、不足しがちな野菜を手軽にプラスできます。
- ・夜に作り置きして、朝食に食べるのもおすすめです！
- ・パンに「ポテトサラダ」と「チーズ」をのせて焼くと、『主食』と『副菜』が一緒にとれます。



広島女学院大学 実習生

## アクションプラン 検証シート (2024 年度実績)

項目番号 2-(5)-(ウ)	具体的な取組	東区を歩いて、運動習慣を身につけよう!	担当課	地域支えあい課	
まちづくりのテーマ及び項目 2 みんなで支え合うまちづくり (5) 地域で取り組む生活習慣病予防					
事業目的・内容 区民一人一人が自分自身の健康に関心を持ち、健康ウォーキングに取り組むきっかけづくりを目的に、平成18年度から各地区公民館等で健康ウォーキング教室を開催し、ウォーキングの普及啓発に取り組んでいる。平成19年度からは、年1回各地区のウォーキングコースを活用した「健康ウォーキングのつどい」を東区公衆衛生推進協議会及び、東区スポーツセンターと共催で開催していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、令和2年度以降中止となっている。令和4年度からは、新たな取組として「新牛田公園・牛田総合公園いきいき健康フェスティバル」を開催している。 一方、コロナ禍で生まれた活動として、地域団体が主催する週1回自宅から地域の拠点に歩く取組が開始しており、健康づくりや介護予防に効果的な活動へと発展している。					
○課題と対応 平均寿命と健康寿命の差が大きいと、食生活や運動などの生活習慣を改善するとともに、疾病や、加齢に伴う心身機能の低下(フレイル)の早期発見のため、特定健康診査受診率を高めることにより健康寿命を延ばす。					
※2021年度に指標②追加 ○指標① 「健康ウォーキングのつどい」の60歳未満参加者割合 指標② 週1回程度ウォーキング活動をする地区数			○目標値の考え方 指標①: 2018年度、2019年度の60歳未満参加者割合(アンケート回答者より算出)は、それぞれ3%、6%であった。2020年度は、10%以上、2022年度は15%以上、2025年度は20%以上とする。  指標②: 2021年度実績が6地区のため、2025年度には13地区全ての地区で実施することとする。ウォーキング活動とは、地域団体が実施主体となり、概ね地(学)区単位での活動を計上する。		
○目標値と進捗状況					
		2023 実績	2024		
			目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	指標①	6.7%	15%以上	8.3%	55.3%
	指標②	6/13地区	12/13地区	6/13地区	60%
○2024年度の取組内容等 ・10月に「新牛田公園・牛田総合公園いきいき健康フェスティバル」を開催し、その中で実施したウォーキング(ノルディック・ウォーク)には12名の参加があった。 ・ウォーキング活動未実施地区について、地区団体の活動状況の実態把握に取り組み、ラジオ体操等の屋外活動が行われていることを把握した。 ・ウォーキンググループに対して健康教室を開催するなど、自主グループとして継続できるよう支援を行った。 ・2月に、東区スポーツセンターと共催で、ウォーキング講座を開催した。					
○2025年度の目標値と取組方針等					
目標値		取組方針等			
週1回以上、屋外活動を行っているグループがある地区数(13/13地区)		・ウォーキングやラジオ体操等の屋外活動を週1回以上行う地区が区内13地区全てで維持できるよう、活動の継続支援及び新たなグループの立ち上げ支援を行う。			
○取組上の課題等 ・ウォーキング以外の健康づくりに取り組んでいる団体は、新たにウォーキング活動を行うことへの関心は低く、活動を広げることが困難な状況にある。					
○備考 ・運動習慣の定着は生活習慣病等の発症予防・重症化予防につながることから、地域団体等と連携を図りながら、身体活動や運動習慣の確立・定着につながる取組を推進する。					

## アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 3-(1)-(ア) 4-(1)-(ウ)	具体的 な取組	「ふたばの日」ガイドツアー参加者を増やそう！	担当課	地域起こし推進課													
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (1) 二葉の里歴史の散歩道などの活用																	
事業目的・内容 二葉の里歴史の散歩道（不動院～二葉の里～矢賀一里塚。昭和 58 年指定）は、国宝「不動院金堂」をはじめ、重要文化財等が集積した歴史文化的価値の高い散歩道である。平成 21 年 3 月から、散歩道を活用して東区の魅力発信を図る目的で、「二葉の里歴史の散歩道ボランティアガイドの会」と協働し、「ふたばの日」（毎月 28 日）に定期ガイド等を実施している。																	
○課題と対応 二葉の里歴史の散歩道の認知度をさらに上げていくために、外国人旅行者や幅広い世代に関心を持ってもらう取組を進める。																	
○指標 年間参加者数			○目標値の考え方 2018 年度実績が 815 人であったため、2020 年度目標を 830 人とし、季節ごとに開催を予定している特別ガイド等の内容充実と、幅広い世代へ届けるための広報手段の工夫により、毎年度 1% ずつ参加者を増やす。														
○目標値と進捗状況																	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2023 実績</th> <th colspan="3">2024</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>800 人</td> <td>863 人</td> <td>957 人</td> <td>111%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	2023 実績	2024			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	800 人	863 人	957 人	111%			
年度	2023 実績			2024													
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	800 人	863 人	957 人	111%													
○2024 年度の取組内容等 予約なしで不特定多数の方が参加する「ふたばの日」（毎月 28 日）の定期ガイドは、11 回（7 月は熱中症警戒アラート発令のため中止）実施し、参加者は 327 人であった。 また、事前予約制の「いつでもガイド」は、28 回実施し、参加者は 208 人であった。 このほか、6 月に尾長小 6 年 116 人、10 月に二葉中 3 年 240 人の学習支援を実施し、8 月の「夏の夜、祈りと平和の夕べ」では 66 人のガイドツアーを実施した。 季節に応じた特別ガイドでは、5 月 28 日と 10 月 28 日に「ばらコース」、3 月 28 日に「花めぐりコース」を実施した。																	
○2025 年度の目標値と取組方針等																	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">871 人</td> <td>「二葉の里歴史の散歩道ボランティアガイドの会」と協議しながら、特別ガイドや特別展示などを織り交ぜ、「ふたばの日」及び「いつでもガイド」を実施する。</td> </tr> </tbody> </table>	目標値	取組方針等	871 人	「二葉の里歴史の散歩道ボランティアガイドの会」と協議しながら、特別ガイドや特別展示などを織り交ぜ、「ふたばの日」及び「いつでもガイド」を実施する。												
目標値	取組方針等																
871 人	「二葉の里歴史の散歩道ボランティアガイドの会」と協議しながら、特別ガイドや特別展示などを織り交ぜ、「ふたばの日」及び「いつでもガイド」を実施する。																
○取組上の課題等 より多くの外国人旅行者や幅広い世代に参加してもらうため、外国人宿泊者等が多く見込まれる施設への散策マップ（日本語版、英語版）の配布のほか、外国人向け観光情報サイトの活用など、イベントの周知を図る。																	
○備考																	

## アクションプラン 検証シート (2024 年度実績)

項目番号 3-(1)-(イ) 4-(1)-(エ)	具体的な取組	「夏の夜、祈りと平和の夕べ」の来訪者を増やそう！	担当課	地域起こし推進課													
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (1) 二葉の里歴史の散歩道などの活用																	
事業目的・内容 二葉の里歴史の散歩道沿いにある神社仏閣の石灯籠や参道に「平和の灯」から採火した約千本のろうそくを灯し、平和の夕べを開催することにより、原爆によって亡くなられた人々の霊を慰め世界平和を祈念するとともに、エキキタをアピールするため、平成 24 年度から、七社寺、ボランティアガイドの会、町内会、関係団体及び区役所で組織する実行委員会が中心となり、毎年 8 月 5 日に実施している。																	
○課題と対応 二葉の里歴史の散歩道の認知度をさらに上げていくために、外国人旅行者や幅広い世代に関心を持ってもらう取組を進める。																	
○指標 イベントの来訪者数			○目標値の考え方 2019 年度実績が 1,900 人であったため、2020 年度目標を 2,000 人とし、毎年度 50 人増やすこととする。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2023 実績</th> <th colspan="3">2024</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>1,266 人</td> <td>2,200 人</td> <td>1,726 人</td> <td>78%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2023 実績	2024			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	1,266 人	2,200 人	1,726 人	78%
年度	2023 実績	2024															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	1,266 人	2,200 人	1,726 人	78%													
○2024 年度の実績内容等 実行委員会 (5 月、7 月、9 月) を開催し、8 月 5 日 (月) に「夏の夜、祈りと平和の夕べ」を実施した。今年度新たに当日限定のスタンプラリー企画を行い、スタンプラリー台紙を広島女学院大学の学生にデザイン協力いただいたほか、同大学の学生には通訳としても参加いただいた。 また、比治山大学短期大学部の学生にデザイン協力をいただいた日本語版・英語版の案内チラシ・ポスターを公共施設・町内会・観光案内所等に配付したほか、七社寺や沿道には幟旗を設置するなどして広報を行った結果、来訪者は 1,726 人であった。 令和 7 年度は被爆 80 周年となるため、2 月に来年度の実施等に関する実行委員会を開催した。																	
○2025 年度の目標値と取組方針等 まちづくりプランの見直しにより、本項目は削除する。																	
○備考																	

## アクションプラン 検証シート（2024年度実績）

項目番号 3-(2)-(ア)	具体的な取組 自然観察の楽しさを広めよう！		担当課 地域起こし推進課				
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性的なまちづくり (2) 都心の近くにある自然とのふれあいの促進							
事業目的・内容 東区の自然に恵まれた特性や地域資源を生かし、緑や水に親しむ機会を創出することを目的として、平成12年5月から「東区緑のボランティアの会」と区役所が協働し、東区の豊かな自然とふれあう自然観察会を実施している。							
○課題と対応 都心の近くにある自然に親しむことのできる場所や、ハイキングコースなどの認知度が十分でないことから、今後も広く住民や観光客に周知し、その活用を促す。							
○指標 年間参加者数		○目標値の考え方 2018・2019年度は災害等により一部の観察会が中止となったため、2017年度の実績である5回198人（1回あたり平均約40人）を基準とし、1回あたり50人、5回で250人を目標とする。					
○目標値と進捗状況							
年度	2023 実績	2024					
		目標値	実績	進捗率			
年度毎の 目標値	67人	240人	76人	32%			
○2024年度の取組内容等							
時期・ 内容等	4月	5月	6月	8月	10月	11月	
	春の 自然観察会	いぎいき大学 (牛田公民館 学習支援)	モリアオガエルの 自然観察会	水辺のふれあい 自然観察会	シリブカガシの ワークショップ	秋の 自然観察会	牛田山 ぐるっと ハイキング
参加者数	6人	16人	29人	中止	中止	中止	25人
4月から6月の自然観察会については、例年どおり実施した。 8月の「水辺のふれあい自然観察」については、酷暑の時期の開催となることや、川での観察会が危険である等の理由により、10月の「シリブカガシのワークショップ」については、例年同時開催している広島東照宮の行事（子供神楽共演会）の中止となったため、「東区緑のボランティアの会」と協議し、中止を決定した。 11月の「秋の自然観察会」については、開催場所である森林公園と協議した結果、自然観察会の集客力を上げるため、今後の実施内容を変更することとし、自然観察会の内容について検討した。 11月24日に「ぐるっとハイキング」で、植物の解説ガイドを実施し、25人の参加があった。							
○2025年度の目標値と取組方針等							
目標値	取組方針等						
250人	例年行ってきたイベントの開催内容の見直しや、新たなイベントの開催について検討する。						
※まちづくりプランの見直しにより、他の項目と一体的に取り組むこととしたため、単独での本項目は削除する。 ※目標値は、東区まちづくりプランの見直しで新たに設定した数値とする。							
○取組上の課題等 例年行っているイベント以外にも、他団体のイベントを支援する形で自然観察会等を実施できるように情報収集を行う。							
○備考							

## アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 3-(2)-(イ)	具体的な取組	都心に近い「牛田山」の魅力を伝えよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性的なまちづくり (2) 都心の近くにある自然とのふれあいの促進				
事業目的・内容 都心近くには珍しい、複数の山を縦走することができる全長約5kmの牛田山ハイキングコースの認知度を高め、その利用者数を増やすことを目的に、平成 25 年度から毎年 11 月に、地元の学区体育協会と区役所、公民館、東区スポーツセンターが協働して「牛田山ぐるっとハイキング」を開催し、ハイキングコースの魅力を区内外に広くアピールしている。				
○課題と対応 都心の近くにある自然に親しむことのできる場所や、ハイキングコースなどの認知度が十分でないことから、今後も広く住民や観光客に周知し、その活用を促す。				
○指標 牛田山ハイキング参加者数			○目標値の考え方 2019 年度は、悪天候のため参加者数が 123 人ととどまったため、2018 年度実績である 177 人を基準とし、運営スタッフの人数に制限もあることから、最大 200 人を目標値として設定する。	
○目標値と進捗状況				
年度	2023 実績	2024		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	157 人	196 人	135 人	69%
○2024 年度の取組内容等 「グループ登山イベント」と、一定期間中に自由に参加する「いつでも登山ウィーク」の 2 部構成で実施した。11 月 24 日のグループ登山イベントでは 71 人、その後 12 月 8 日まで実施した登山ウィークでは 64 人の参加があった。				
○2025 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
250 人	開催日が地域イベントと重なったこともあり、目標値に達しなかったため、広報の方法などについて協議を行う。			
※まちづくりプランの見直しにより、他の項目と一体的に取り組むこととしたため、単独での本項目は削除する。				
※目標値は、東区まちづくりプランの見直しで新たに設定した数値とする。				
○取組上の課題等 より多くの人に参加してもらえるよう関係者と早い段階から協議し、広報の方法や時期について検討する。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 3-(2)-(ウ)	具体的な取組 地域主催のハイキングイベントを増やそう！	担当課 地域起こし推進課													
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (2) 都心の近くにある自然とのふれあいの促進															
事業目的・内容 東区には、都心の近くで自然に親しむことのできるハイキングコースが多数存在する。これらのハイキングコースの利用を促進し、自然とのふれあいの機会を創出することを目的として、令和2年度から新たに地域主催のハイキングイベントの実施を支援する。															
○課題と対応 都心の近くにある自然に親しむことのできる場所や、ハイキングコースなどの認知度が十分でないことから、今後も広く住民や観光客に周知し、その活用を促す。															
○指標 ※2023 年度指標修正 <u>ハイキングイベントの実施件数</u>	○目標値の考え方 2022 年度までは、ハイキングイベントの新規実施件数を目標としていたが、2022 年度に目標値を達成したことから、2023 年度からは、新規イベント3 件を毎年度実施することとする。														
○目標値と進捗状況															
<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 10%;">年度</th> <th rowspan="2" style="width: 10%;">2023 実績</th> <th colspan="3" style="width: 80%;">2024</th> </tr> <tr> <th style="width: 20%;">目標値</th> <th style="width: 20%;">実績</th> <th style="width: 20%;">進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">年度毎の 目標値</td> <td style="text-align: center;">3 件/年</td> <td style="text-align: center;">3 件/年</td> <td style="text-align: center;">3 件/年</td> <td style="text-align: center;">100%</td> </tr> </tbody> </table>			年度	2023 実績	2024			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	3 件/年	3 件/年	3 件/年	100%
年度	2023 実績	2024													
		目標値	実績	進捗率											
年度毎の 目標値	3 件/年	3 件/年	3 件/年	100%											
○2024 年度 of 取組内容等															
<table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">主催団体</th> <th style="width: 25%;">対象場所</th> <th style="width: 50%;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">二葉公民館</td> <td style="text-align: center;">尾長山・二葉山・大内越山</td> <td style="text-align: center;">3つの山を対象に「いつでも登山イベント」を実施した。(3月1日～3月28日 参加者8人)</td> </tr> </tbody> </table>			主催団体	対象場所	内容	二葉公民館	尾長山・二葉山・大内越山	3つの山を対象に「いつでも登山イベント」を実施した。(3月1日～3月28日 参加者8人)							
主催団体	対象場所	内容													
二葉公民館	尾長山・二葉山・大内越山	3つの山を対象に「いつでも登山イベント」を実施した。(3月1日～3月28日 参加者8人)													
○2025 年度 of 目標値と取組方針等 まちづくりプランの見直しにより、本項目は削除する。															
○備考															

## アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 3-(3) 4-(1)-(オ)	具体的 な取組	「魅力と活力向上推進事業補助金」	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (3) 地域資源を生かした住民主体の活動の推進				
事業目的・内容 平成 11 年度から、地域特性を生かした個性豊かで魅力あるまちづくりを推進することを目的として、地域の魅力や活力の向上に資する住民の主体的かつ継続的な活動に補助金を交付している。				
○課題と対応 東区の魅力や活力をさらに高めていくために、地域資源を生かしたまちづくりを進める団体等に積極的に制度の情報提供を行い、活動する団体を増やす。				
○指標 新規申請件数			○目標値の考え方 2019 年度までの過去 7 か年の新規申請件数が平均 3.1 件、2019 年度新規申請件数が 4 件であることを踏まえ、今後も、毎年度 4 件以上の新規申請件数を目指す。	
○目標値と進捗状況				
年度	2023 実績	2024		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	1 件/年	4 件以上/年	2 件/年	50%
○2024 年度の実績等 1 次募集では、新規申請が 2 件、継続申請 1 件あった。 2 次募集では、「市民と市政」での広報や各地区社会福祉協議会への募集要項の送付、過去に相談のあった団体へのアプローチ、申請内容の相談に対して助言等を行ったが、申請は 0 件となった。				
○2025 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
2 件以上 /年	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 2025 年度募集開始前に地区社協等に手引きなどの案内を送付する。</li> <li>• 既存団体の活動を「市民と市政」や Facebook を通じて広報し、地域活動団体に向けて補助制度や活動の具体的な内容を周知する。</li> <li>• 既存団体から情報収集するなどして、申請の可能性のある団体を掘り起こし、個別に声掛けを行う。</li> </ul>			
○取組上の課題等 地区社会福祉協議会などに向けてチラシ等の案内を送付するとともに、「市民と市政」や公民館だより等を活用して、補助団体の活動及び制度の周知を行う。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 3-(4)-(ア)	具体的な取組	健康づくりに取り組む若者を育てよう！	担当課	地域支えあい課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を活かした個性豊かなまちづくり (4) 大学との地域連携によるまちづくり				
事業目的・内容 若い世代に対する健康づくり・健全な食生活の実践等に関する普及啓発を目的として、平成 22 年度から大学との包括的な連携のもと、大学祭で健康展（朝食・野菜摂取に関する展示、レシピ紹介等）を開催している。				
○課題と対応 地域の大学と包括的な連携のもと、それぞれの持つ人材、知識、情報などの資源を活用し、地域の発展と人材の育成を図る。				
○指標 健康展の出展回数			○目標値の考え方 これまで広島女学院大学、比治山大学を隔年で実施していた。2020 年度からは両大学の大学祭において健康展を出展するため、年2回とした。	
○目標値と進捗状況				
	2023 実績	2024		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	2回/年	2回/年	2回/年	100%
○2024 年度の取組内容等				
大学名	時期	取組状況		
女学院 大学	4月	大学祭の出展及び骨粗しょうをテーマとした講演会の実施スケジュールを調整		
	8月	健康展の内容を学生と協議を開始		
	9月	掲示物等の作成を開始		
	10月	健康展の内容を学生と協議し、展示物等を作成		
	11月	11/10：大学祭で健康展出展 （朝食、エイズ、飲酒に関する展示・体験コーナー設置：175 名来場） 11/19：骨粗しょう症予防講演会を実施（166 名参加） 11/29：学生ボランティア2名とエイズ啓発街頭キャンペーン実施		
比治山 大学	4月	大学祭の出展等について協議を実施		
	7月	健康展の内容について、学生と打合せを行い、掲示物等の作成を開始		
	9月	健康展の出展準備完了		
	10月	10/26：大学祭で健康展出展 （野菜摂取に関する展示設置：100 名来場）		
○取組上の課題等 健康づくりに取り組みやすく実践に結び付く内容の健康展等となるよう、来年度に向けて大学との連携及び調整方法を検討する。				
○2025 年度の目標値と取組方針等 まちづくりプランの見直しにより、本項目は削除する。				
○備考 「地域の大学と連携した取組を増やそう！」の目標として他課と協働で取組を行う。				

## アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 3-(4)-(イ)	具体的 な取組	命の大切さや思いやりの心を育もう！	担当課	地域支えあい課													
まちづくりのテーマ及び項目 3.地域資源を活かした個性豊かなまちづくり (4) 大学との地域連携によるまちづくり																	
事業目的・内容 大学生が乳幼児とその保護者とふれあい、交流することで、生命の尊さや思いやりの心を育むことを目的に、常設子育てオープンスペースにおいて、大学生と親子がふれあい、交流できるイベントを実施する。																	
○課題と対応 地域の大学と包括的な連携のもと、それぞれの持つ人材、知識、情報などの資源を活用し、地域の発展と人材の育成を図る。																	
○指標 大学生による常設オープンスペースでの、親子で遊べるイベント開催 件数			○目標値の考え方 年1回、継続的に開催する。														
○目標値と進捗状況																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2023 実績</th> <th colspan="3">2024</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>2回/年</td> <td>1回/年</td> <td>1回/年</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2023 実績	2024			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	2回/年	1回/年	1回/年	100%
年度	2023 実績	2024															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	2回/年	1回/年	1回/年	100%													
○2024 年度の実績内容等 常設オープンスペースへの大学生の参加について、1月22日に比治山大学短期大学部幼児教育科2年生の学生2名が参加し、親子とふれあい、交流できるイベントを行った。 また、生命の大切さについて理解を深めるとともに思いやりの心を育むことを目的に、出産・子育てに関する助産師の講演を、8月5日に広島女学院大学管理栄養学科3年生51人に対し実施した。学生自身が妊娠・出産についてプラスのイメージを持つことができ、自分自身の身近なこととして捉える機会になった。																	
○2025 年度の目標値と取組方針等 まちづくりプランの見直しにより、本項目は削除する。																	
○備考 「地域の大学と連携した取組を増やそう！」の目標として他課と協働で取組を行う。 事業としては引き続き実施する。 ・比治山大学の学生の常設オープンスペースへの参加。 ・広島女学院大学学生に対する出産・子育てに関する助産師の講演。																	

## アクションプラン 検証シート (2024 年度実績)

項目番号 3-(5)-(ア)	具体的な取組	地元のトップアスリートを応援しよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (5) スポーツにふれあう機会の充実				
事業目的・内容 東区を拠点に活動する女子ハンドボールチーム「イズミメイプルレッズ」を応援することを通じて、区民がスポーツに親しむことを目的として、平成 28 年度から年 1 回、東区応援団を結成して試合の応援を行うとともに、区役所ロビーでの応援パネル展を行っている。				
○課題と対応 東区の魅力資源であるイズミメイプルレッズの応援や、誰もが気軽に取り組むことができるニュースポーツの体験などを通じて、全ての住民がスポーツにふれあう機会を充実させる。				
○指標 東区応援団への参加者数			○目標値の考え方 2019 年度実績が 90 人であったため、2020 年度目標を 100 人とし、学区体育協会など各種団体への働き掛けにより、毎年度 10 人ずつ参加者を増やす。	
○目標値と進捗状況				
年度	2023 実績	2024		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	79 人	140 人	127 人	91%
○2024 年度の実績内容等				
実施日	応援状況			
4月	Facebook で応援を呼び掛けた。			
7月	国際大会に併せて Facebook で応援を呼び掛けた。			
9月	区役所ロビー展を実施 (9/4~9/18)			
	リーグ開幕戦に併せて Facebook で応援を呼び掛けた。			
2月	区役所ロビー展 (2/6~2/14)			
	Facebook で応援を呼び掛けた。			
	東区応援隊による試合応援を実施 (2/11)			
○2025 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
50 人	東区スポーツセンターで開催される試合について、東区スポーツセンター、学区体育協会との連携を図りながら応援方法について検討し、引き続き、イズミメイプルレッズ広島への応援を行う。			
※目標値は、東区まちづくりプランの見直しで新たに設定した数値とする。				
○取組上の課題等 広島サンブラザをホームアリーナとして活動開始したことを踏まえて、東区スポーツセンター、学区体育協会、さらには、広島サンブラザと連携を図りながら、イズミメイプルレッズ広島の効果的な応援方法等を検討する。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 3-(5)-(イ)	具体的な取組	高齢者や障害者等、全ての区民が気軽にスポーツに参加する機会を広げよう！	担当課	地域起こし推進課													
<p>まちづくりのテーマ及び項目</p> <p style="margin-left: 20px;">3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり</p> <p style="margin-left: 40px;">(5) スポーツにふれあう機会の充実</p>																	
<p>事業目的・内容</p> <p>区民の生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動を支援することを目的として、学区体育協会、区スポーツ推進委員協議会、東区スポーツセンター等が協働して年3回（5月、10月、12月）、区内の小中学生や地域住民を対象にニュースポーツを体験するイベントを開催している。</p>																	
<p>○課題と対応</p> <p>東区の魅力資源であるイズミメイプルレッズの応援や、誰もが気軽に取り組むことができるニュースポーツの体験などを通じて、全ての住民がスポーツにふれあう機会を充実させる。</p>																	
<p>○指標</p> <p>ニュースポーツを体験するイベントの年間実施回数</p>			<p>○目標値の考え方</p> <p>2019 年度まで毎年3回継続開催しており、2020 年以降も毎年3回継続して実施する。</p>														
<p>○目標値と進捗状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2023 実績</th> <th colspan="3">2024</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td style="text-align: center;">3回</td> <td style="text-align: center;">3回</td> <td style="text-align: center;">2回</td> <td style="text-align: center;">67%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2023 実績	2024			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	3回	3回	2回	67%
年度	2023 実績	2024															
		目標値	実績	進捗率													
年度毎の 目標値	3回	3回	2回	67%													
<p>○2024 年度の実施内容等</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">イベント名</th> <th style="width: 20%;">実施予定時期</th> <th style="width: 40%;">状況等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エンジョイ！スポーツ祭(スポーツの日)</td> <td style="text-align: center;">10月14日</td> <td>施設を無料開放し、体力測定会などのイベントを実施（ニュースポーツは実施せず）</td> </tr> <tr> <td>ニュースポーツ交流会</td> <td style="text-align: center;">12月15日</td> <td>インドアモルックを実施</td> </tr> <tr> <td>ひがしくスポーツセンターまつり</td> <td style="text-align: center;">2月24日</td> <td>インドアモルックを実施</td> </tr> </tbody> </table>					イベント名	実施予定時期	状況等	エンジョイ！スポーツ祭(スポーツの日)	10月14日	施設を無料開放し、体力測定会などのイベントを実施（ニュースポーツは実施せず）	ニュースポーツ交流会	12月15日	インドアモルックを実施	ひがしくスポーツセンターまつり	2月24日	インドアモルックを実施	
イベント名	実施予定時期	状況等															
エンジョイ！スポーツ祭(スポーツの日)	10月14日	施設を無料開放し、体力測定会などのイベントを実施（ニュースポーツは実施せず）															
ニュースポーツ交流会	12月15日	インドアモルックを実施															
ひがしくスポーツセンターまつり	2月24日	インドアモルックを実施															
<p>○2025 年度の目標値と取組方針等</p> <p>まちづくりプランの見直しにより、本項目は削除する。</p>																	
<p>○備考</p>																	

## アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 3-(6) 4-(2)	具体的 な取組	「木曜であい市」でおいしい地元野菜をアピールしよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (6) 都心に近い農業地域の活力向上				
事業目的・内容 東区の新鮮な野菜等の特産品を販売するイベントを開催することにより、農業の振興と、来訪者と区民や区民相互の交流を促進することを目的に、平成 16 年 8 月から、毎週木曜日に東区民文化センターにおいて「木曜であい市」を開催している。				
○課題と対応 「木曜であい市」の来場者数が減少傾向にあるため、「木曜であい市」の認知度を高め、来場者数を増やす。				
○指標 年間来場者数			○目標値の考え方 2018 年度までの過去 3 年間で 1 回の来場者が 103 人から 80 人に減少しているため、2020 年度の目標を 4,000 人（1 回 80 人 × 年 50 週）と設定し、毎年 50 人ずつ（毎回 1 人ずつ）来場者を増やす。	
○目標値と進捗状況				
年度	2023 実績	2024		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	4,761 人	4,200 人	5,549 人	132%
○2024 年度の実績内容等 「木曜であい市」を計 49 回開催し、来場者数は昨年度と比べ 788 人増となった。 12 月には野菜等が当たる「年末くじ」、3 月には開催 900 回記念「豚汁のふるまい」のイベントを行ったほか、「エキキターレ秋フェスタ」、東区スポーツセンター「スケート開場祭」「スケートフェスティバル」、東区民文化センター「出会い・ふれあいフェスティバル」に出店し、木曜であい市や東区産野菜の PR を行った。				
○2025 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
4,250 人	イベント出店時のチラシ配布等により新規来場者数の増加を目指す。			
○取組上の課題等 継続して開催してきたことで一定のリピーターが確保できているが、更なる来場者数の増加につなげるため、イベント出店時のチラシ配布等で「木曜であい市」の認知度を高め、新規来場者の獲得を図る。また、生産者の高齢化に伴い、安定して出荷できる農家が減少しているため、後継者や新たな生産者の確保が必要となっている。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 3-(7)	具体的な取組	子どもたちに地域の魅力を伝えよう!	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 3 地域資源を生かした個性豊かなまちづくり (7) 地域の魅力の継承				
事業目的・内容 東区では、地域の魅力を子どもたちに伝えていくため、二葉の里歴史の散歩道ボランティアガイドの会（以下、「歴史」）（牛田小学校、尾長小学校）、東区緑のボランティアの会（以下、「緑ボラ」）（尾長小学校）、東区ふれあいもてなし市協議会（以下、「農家」）（矢賀小学校）の3者が講師となり、地域の歴史や自然、農業などの学習を支援している。				
○課題と対応 子ども達が地域の歴史や自然を学習する機会が少ないため、東区の魅力である地域資源を継続して伝えていく。				
○指標 3者が学習支援を実施する学校等の数			○目標値の考え方	
○目標値と進捗状況			2019年度は3者が4校で学習支援を行っており、2025年度に3者が各1校ずつ増やし7校にすることし、2年ごとに1校ずつ増やすことを目標とする。	
年度	2023 実績	2024		
年度毎の 目標値	7校/年	目標値 6校/年	実績 8校/年	進捗率 133%
○2024 年度の取組内容等				
団体・学習支援実施校		学習支援内容		実施日
農家	矢賀小学校（3年）	「矢賀うり」植付指導		5月27日
		「矢賀ちしゃ」植付指導		11月29日
		「矢賀ちしゃ」収穫指導		2月17日
	あけぼの保育園	「矢賀うり」植付指導		6月10日
	わかくさ保育園	「矢賀ちしゃ」植付指導		11月25日
		「矢賀ちしゃ」収穫指導		2月10日
牛田小学校（2年）	東区農家等と小学生の交流給食		12月4日	
歴史	尾長小学校（6年）	ウォークラリー（七社寺）でのガイド		6月26日
	二葉中学校	5コースのガイド		10月3日
	広島女学院大学	七福神コースのガイド		6月18、25日 11月16日
緑ボラ	尾長小学校（5年）	二葉山でのガイド		10月21日
○2025 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
7校/年	引き続き、上記の小学校等への学習支援を行うとともに、新たな学習支援を増やすため、学校への情報提供を行う。			
○取組上の課題等 学校側のスケジュール確保が必要であることから、早期に、教頭会等に情報提供を行い、新たな学習支援校を増やす。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 4-(1)-(ア)	具体的な取組	「エキキターレ」をエキキタのにぎわい広場として盛り上げよう！	担当課	地域起こし推進課																				
まちづくりのテーマ及び項目 4 おもてなしの心あふれるまちづくり (1) 陸の玄関口であるJR広島駅新幹線口周辺地区（エキキタ）のにぎわいづくり																								
事業目的・内容 JR広島駅新幹線口周辺地区（エキキタ）では、地元企業や住民団体、東区役所によって、平成 27 年に「エキキタまちづくり会議」が設立され、その後、様々な取組を継続して実施している。 平成 31 年 3 月には、広島市が創設した「エリアマネジメント活動計画認定制度」の第 1 号として「エキキタエリアマネジメント活動計画」が認定された。これにより、エキキターレ（有効空地）及び二葉の里第三公園（街区公園）における規制緩和が認められたことから、これらを活用して自主財源を確保しながら、産官学民の協働・連携により、エキキタが一体となった持続可能なまちづくりを進めている。																								
○課題と対応 「エキキターレ」を活用するなど、季節ごとに実施されるイベントの内容の充実を図りながら、「エキキタ」の認知度を高めていく。																								
○指標 イベント等でのエキキターレの利用日数			○目標値の考え方 2019 年度の利用実績 30 日を踏まえ、2025 年度には、100 日の利用（年間を通して週末にはイベント等が行われている状況）を目指し、利用日数を増やす。																					
○目標値と進捗状況																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">2023 実績</th> <th colspan="3">2024</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>進捗率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度毎の 目標値</td> <td>31 日/年</td> <td>85 日/年</td> <td>22 日/年</td> <td>26%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	2023 実績	2024			目標値	実績	進捗率	年度毎の 目標値	31 日/年	85 日/年	22 日/年	26%							
年度	2023 実績	2024																						
		目標値	実績	進捗率																				
年度毎の 目標値	31 日/年	85 日/年	22 日/年	26%																				
○2024 年度の取組内容等																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>利用月</th> <th>イベント名（日数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4 月</td><td>リフォームフェスタ（2 日）</td></tr> <tr><td>5 月</td><td>子育て応援団すこやか（2 日）</td></tr> <tr><td>7 月</td><td>エキキタおながフェスタ（2 日）</td></tr> <tr><td>8 月</td><td>Fun in the SUN（1 日）</td></tr> <tr><td>9 月</td><td>Fun in the SUN（1 日）、国際ステラレータ/ヘリオトロンワークショップ（2 日）</td></tr> <tr><td>10 月</td><td>秋フェスタ（2 日）、おこフェス（2 日）</td></tr> <tr><td>11 月</td><td>防災フェス（1 日）</td></tr> <tr><td>12 月</td><td>カープフェス（1 日）、クリスマスマーケット（2 日）</td></tr> <tr><td>3 月</td><td>キッズフェスタ（2 日）、フェムミナーレ（2 日）</td></tr> </tbody> </table>					利用月	イベント名（日数）	4 月	リフォームフェスタ（2 日）	5 月	子育て応援団すこやか（2 日）	7 月	エキキタおながフェスタ（2 日）	8 月	Fun in the SUN（1 日）	9 月	Fun in the SUN（1 日）、国際ステラレータ/ヘリオトロンワークショップ（2 日）	10 月	秋フェスタ（2 日）、おこフェス（2 日）	11 月	防災フェス（1 日）	12 月	カープフェス（1 日）、クリスマスマーケット（2 日）	3 月	キッズフェスタ（2 日）、フェムミナーレ（2 日）
利用月	イベント名（日数）																							
4 月	リフォームフェスタ（2 日）																							
5 月	子育て応援団すこやか（2 日）																							
7 月	エキキタおながフェスタ（2 日）																							
8 月	Fun in the SUN（1 日）																							
9 月	Fun in the SUN（1 日）、国際ステラレータ/ヘリオトロンワークショップ（2 日）																							
10 月	秋フェスタ（2 日）、おこフェス（2 日）																							
11 月	防災フェス（1 日）																							
12 月	カープフェス（1 日）、クリスマスマーケット（2 日）																							
3 月	キッズフェスタ（2 日）、フェムミナーレ（2 日）																							
区役所内等へのイベントチラシの配布や、イベント広報支援を通して、利用の増加を図った。																								
○2025 年度の目標値と取組方針等																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th>取組方針等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100 日/年</td> <td>イベントの広報支援を通して、エキキターレの周知を図り、利用増加につなげる。</td> </tr> </tbody> </table>					目標値	取組方針等	100 日/年	イベントの広報支援を通して、エキキターレの周知を図り、利用増加につなげる。																
目標値	取組方針等																							
100 日/年	イベントの広報支援を通して、エキキターレの周知を図り、利用増加につなげる。																							
○取組上の課題等 エキキターレの認知度が十分でないことから、イベントの広報支援を通して、利用増加につなげる。																								
○備考																								

## アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 4-(1)-(イ)	具体的 な取組	「エキキタ・ドリミネーション」を、エキキタのインスタスポットに育てよう！	担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 4 おもてなしの心あふれるまちづくり (1) 陸の玄関口である JR 広島駅新幹線口周辺地区（エキキタ）のにぎわいづくり				
事業目的・内容 広島の新たな観光スポットとして、多くの方々にエキキタに足を運んでいただき、賑わいの創出を図ることを目的として、平成 28 年度から、「エキキタ・イルミネーション」として周辺企業・店舗と協働でイルミネーションイベントを実施している。平成 30 年度からは、「ひろしまドリミネーション」のサテライトエリアとして広島駅周辺地区まちづくり協議会とも連携し、「エキキタ・ドリミネーション」として開催し、周辺地域一体となった魅力発信を行っている。				
○課題と対応 「エキキターレ」を活用するなど、季節ごとに実施されるイベントの内容の充実を図りながら、「エキキタ」の認知度を高めていく。				
○指標 参加企業・店舗数			○目標値の考え方 2018 年度に 23 企業・店舗、2019 年度に 20 企業・店舗の参加実績があり、2025 年度の 30 企業・店舗を目標として、毎年、新規参加店舗・企業を増やす。	
○目標値と進捗状況				
年度	2023 実績	2024		
		目標値	実績	進捗率
年度毎の 目標値	28 企業・ 店舗	29 企業・ 店舗	29 企業・ 店舗	100%
○2024 年度の実績内容等 ・「鉄板焼 あーちゃんの店」、「Cafeteria y Bar Linda」に参加を呼び掛け、新規参加となった。 ・協賛広告を伴うポスター型マップを作成し、23 万円の協賛金を確保した（昨年度 19 万 5 千円）。				
○2025 年度の目標値と取組方針等				
目標値	取組方針等			
30 企業・ 店舗	引き続き、エキキターレの北側、西側にイルミネーションのつながりを持たせるよう、周辺の企業・店舗へ参加の呼び掛けを行う。			
○取組上の課題等 エキキタ地区内で、自社で取り組んでいる企業・店舗等の実態調査を行い、新規参加の掘り起こしを行う。				
○備考				

## アクションプラン 検証シート（2024 年度実績）

項目番号 4-（3）	具体的な取組	東区を花でいっぱいにしてよう！			担当課	地域起こし推進課
まちづくりのテーマ及び項目 4 おもてなしの心あふれるまちづくり (3) 公共空間（公園等）を活用した花づくり						
事業目的・内容 東区を花でいっぱいの潤いのあるまちにしていくことを目的に、平成 25 年度から 3 人以上で構成する花づくり団体へ、花づくりに必要な物品を提供し、安定して活動が継続できるよう支援している。						
○課題と対応 花づくりを行える公園等の公共用地で、まだ活用されていない場所が見受けられるため、支援制度の広報に力を入れ、活動を充実・強化する。						
○指標 花づくり活動団体数					○目標値の考え方 2019 年度実績が 40 団体であるため、2020 年度目標を 42 団体とし毎年 1～2 団体の増加を目指す。	
○目標値と進捗状況						
		2024			進捗率算出（積み上げ式） $\frac{49 - 40}{49 - 40} = \frac{9}{9}$ ※2019 実績値	
年度	2023 実績	目標値	実績	進捗率		
年度毎の 目標値	49 団体	49 団体	49 団体	100%		
○2024 年度の取組内容等 花づくり活動について相談があった団体に、本事業の紹介を行った。 既存団体から提出された活動報告書を Facebook に投稿し、本事業の紹介を行った。 2 月に花づくり講習会を開催し、スキルアップの機会を提供することで、団体が継続して活動できるよう支援した。また、講習会で作成する寄せ植えの作品を「出会い・ふれあいフェスティバル（2月15日、16日開催）」で展示し、本事業のPRを行った。						
○2025 年度の目標値と取組方針等						
目標値	取組方針等					
50 団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存団体にチラシ等の案内を提供し、花づくり活動がされていない公園の周辺の知人の方などに本事業を紹介してもらえるように依頼することで、新しい活動団体を発掘していく。</li> <li>・花づくり団体の活動報告書を利用した広報を継続する。</li> </ul>					
○取組上の課題等 既存団体に来年度の申請書を送付し、引き続き花づくり活動を行うことを呼び掛ける。						
○備考						